

東京学芸大学国語教育学会
2022年度 第2回例会のご案内

6月にもかかわらず記録的な猛暑の日が続きますが、会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。5月に第1回の例会と総会を行ったばかりですが、あっという間に第2回のご案内をすることになりました。今回の例会では、50周年記念事業としての出版に向けて、いくつかのグループより報告があります。今後の取り組みについても、会員の皆様のご協力どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 上田真也〔東京学芸大学附属大泉小学校〕

研究主題 思考力・想像力を育てる言葉の学び

日時 2021年7月2日(土) 14:00~17:10

会場 ZOOM 会議室 (オンライン)

ミーティング ID 864 5648 9003

セキュリティパスコード 59Avr6

招待リンク

<https://us06web.zoom.us/j/86456489003?pwd=S1UyZUkzZG8rdGtOOXE5U3V4L2QvZz09>

時程

14:00~	開会
14:10~15:00	研究発表①「文体チーム」
15:10~16:00	研究発表②「構造と内容の把握チーム」
16:10~17:00	研究発表③「ものの見方・視点チーム」
17:00~17:10	事務連絡 閉会

1 文体チーム

読むことにおける「文体」は、高校で初めて出てくる用語です。小・中のどのような学習が元となり、高校での文体につながっていくのかを明らかにしたいと考えています。私たちは、「修辞」をはじめとする細かい表現から、大きくは「作者の特徴」まで、文体の学習として想起される内容の幅に注目しました。この幅は、学習過程でもあり発達段階でもあると考えられます。そこで12年間の学びの発達段階と、廣野(2005)により、①(部分)表現・描写→②全体(ここまで内在的アプローチ)→③社会的立場づけ(外在的アプローチ)の3段階に整理しました。これを起点とし、小中高それぞれの授業に取り組んでいます。今回は、すでに授業が終わっている小中の実践の概略を報告します。(笹平)

○小5 後藤昌幸(山形県南陽市立赤湯小学校) 星野道夫『森へ』(光村6年)

○中1 荻野聡(東京学芸大学附属竹早中学校) ヘッセ「少年の日の思い出」高橋健二訳(三省堂1年)、岡田朝雄訳

○高1 西村諭(東京学芸大学附属国際中等教育学校) 中島敦「山月記」(筑摩)

○笹平真之介/盛岡大学

2 構造と内容の把握チーム

<観点> 語り手 独白 回想 複数の語り手 構造の面白さ 内容の把握

構造と内容の把握チームは、各校種の実践を基に、どのような構造に着目して読むことで、内容をより深く読み取っているか、また、それぞれの発達段階に合わせて、どのような構造に気づく工夫ができるかについて検討してきました。

○高3 笛田圭祐(都立深沢高等学校)『山月記』

高校では、内容を丁寧に読み取りながら、主な構成要素である李徴の告白に注目しました。それをもとに物語を再構成することで、物語の中心的部分を考え、重み付けを行いました。

○中3 菊地圭子(学芸大学附属竹早中学校)『握手』

中学校では、物語の「回想」という構成に注目しながら、「近い過去」「遠い過去」「現在」の時制をふまえて、内容をより多角的に捉え、読みの深まりを目指しました。

○小6 藤枝真奈(お茶の水女子大学附属小学校)『帰り道』

小学校では、複数の語り手に着目し、語り手によって見えてくるものが異なる物語の構造の面白さを感じながら、登場人物たちの心情を読み深めました。

3 ものの見方・視点チーム

「ものの見方」は、状況、物、事実、考え、意見を観察するときの立ち位置です。ものの見方はテキストに影響を与え、テキストはものの見方に影響を与えます。国際バカロレアプログラムでは全学年に共通して設定されている重要な概念です。人物像に対する見方、考え方に焦点をあて、発達段階に応じた実践開発に取り組みました。

○小3 上田真也(東京学芸大学附属大泉小学校)『白い花びら』

登場人物の性格を、「様子」「変化」「原因」の3つの概念を使って捉え、自身の性格と比較して楽しむ学習を展開します。

○中2 浅井悦代(東京学芸大学附属国際中等教育学校) 短歌創作

自分自身を表す言葉を付箋紙に書き出し、「ジョハリの窓」を使って分析し、自分の個性を表現する短歌を制作しました。作品発表で「私は誰でしょう？」クイズを行いました。自己や他者に対する「ものの見方」を育むことを心がけました。

○高2 杉本紀子(東京学芸大学附属国際中等教育学校)『大鏡』

『大鏡』に描かれた人物を分析し、キャッチコピーや批評文を書き、級友と交流する活動に取り組みました。歴史的文化的な観点から描かれた人物に対し、学習者自身がどのような観点から分析していたのか、メタ認知できるように促していきました。

参加費 無 料

※学会員の方は年会費(一般3000円、学生2000円)をいただきます。

※年会費の納入方法につきましては、別途お知らせしています。

- ・本学会は、国語科教育に関心のお持ちの方ならばどなたでも入会できます。
- ・本学会に関するお問い合わせは、学会事務局(東京学芸大学附属大泉小学校・上田真也 ueshin@u-gakugei.ac.jp)までお願いいたします。
- ・第3回例会は、9月10日(土)にオンライン(zoom 会議室)にて行います。